

2007 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 植條 勝子
授業テーマ 音楽療法 ピアノ演奏 音楽教育研究		
授業の概要と目標 音楽をいろいろな角度から考察する。音楽療法では実際に障害児と信頼関係を築くためにはどのように接するのか、コミュニケーションを深められるのかをセッションを通して学ぶ。ピアノ演奏については、楽曲分析も含めてより高度なテクニックと表現法とを実技により習得する。音楽教育研究は幼児期の音楽体験を振り返り、子どもの豊かな音楽表現力を育て興味を惹きつけるための保育内容・授業内容を研究する。これらの分野から最も興味のあるものをテーマに選ぶ。		
評価方法 レポートとテーマに取り組む態度により評価する		
テキスト その都度指示をする	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. テーマを決定するには 2. 指導法Ⅰ（１） 幼児の歌唱指導のポイント 3. 指導法Ⅰ（２） 模擬授業による指導 4. 指導法Ⅰ（３） 個々の指導の問題点とその解決法 5. 創作（１） 音楽を創る（数種類の絵を準備する） 6. 創作（２） 一枚の絵から音楽物語を創る 7. 創作（３） 物語を発展させる 8. 創作発表 物語の自作自演 9. 教育実習を終えて 反省と課題 10. 表現Ⅰ（１） 子どものミュージカル（グループ編成、題材の選択、配役の決定） 11. 表現Ⅰ（２） 公開練習、意見交換 12. 表現Ⅰ（３） 公開練習、表現の工夫 13. 表現Ⅰ（４） 公開練習、表現の工夫 14. 表現Ⅰ（５） 発表、ビデオ撮影 15. 表現Ⅰ（６） 発表、ビデオ撮影 16. 演奏発表 ピアノ演奏を研究テーマとし、毎週個人レッスンを受けた成果を発表する 17. 指導法Ⅱ（１） 伴奏法（既成の伴奏形、主旋律を重複する伴奏形） 18. 指導法Ⅱ（２） 伴奏法（主旋律を含まない独立した伴奏形） 19. 指導法Ⅱ（３） 伴奏法（自由な伴奏形） 20. 指導法Ⅱ（４） 弾き歌い 21. 指導法Ⅱ（５） 弾き歌い 22. 演習（１） 手話の歌 23. 演習（２） 手話の歌 24. 演習（３） 手話の歌 25. 事例研究（１） 音楽環境と音楽教育 26. 事例研究（２） 生活と音楽環境 27. 事例研究（３） 障害児音楽教育 28. 事例研究（４） 障害児音楽教育 29. 演奏発表 第2回ピアノ演奏発表 30. テーマを絞る 各自のテーマを決定し、どのように発展させるかを発表する *ピアノ演奏をテーマにする場合は、別にレッスン時間を設定して毎週個人レッスンをする *音楽療法をテーマにする場合は、週1回本学で実施している音楽療法セッションで臨床実習をし、その後のミーティングにも参加する		